

Course number		U-LAS22 20001 SO48					
Course title (and course title in English)		フランス語II A F2105 Intermediate French A		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer,INOUE TAKUYA	
Group		Languages		Field(Classification)			
Language of instruction		Japanese and French		Old group		Group C	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2025・First semester	
Days and periods		Wed.5		Target year		2nd year students or above	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
<p><フランス文化・社会の現在> フランス文化・社会をテーマとする教材を用いて、これまでに培ったフランス語の技能を向上させるほか、より発展的な読解力・表現力を養う。時事フランス語や人文・社会科学分野のテキストを用いた講読がおもな内容となる。また、文型や語彙を内在化させるため、音読やパターンプラクティスといった口頭練習、ディクテ（口述された文の書き取り）にも積極的に取り組む。 各課の内容への導入として文化史、社会史的な視点から解説を行うほか、関連動画を視聴することもある。フランス語の運用能力を全般的に高めるとともに、フランス語の「先」にある世界を知ること、授業の目的である。</p>							
[Course objectives]							
1) 辞書を用いて、ある程度長い文を読みこなすことができるようになる。 2) 生きたフランス語のテキストに触れながら、基本的な文法や語彙の知識を固め、みずから運用できるようになる。 3) 自然なイントネーションやリズム、発音で文章を朗読することができる。 4) フランス文化・社会のアクチュアルな問題について理解を深める。							
[Course schedule and contents]							
第11週までは時事フランス語の読本（『12テーマでわかるフランス事情[三訂版]』）を教科書として用いる。 以降の週では、受講者の関心に応じてテーマ別のテキストを抜粋で読む。取り上げる候補としては、たとえばSeuil社の「Expliqué à ...」シリーズ(ジャック・ル・ゴフ『こどもたちに語る中世』、ターハル・ベンジュルーン『娘に語るラシズム』、ミシェル・ヴィヴィオルカ『若者に語る反ユダヤ主義』、エリザベート・ルディネスコ『孫に語る無意識』、レジス・ドゥブレ『娘に語る共和国』など)が考えられる。 毎週のはじめに、指定した予習箇所の内容理解を問う小テストを実施する。小テストには、すでに解説した箇所のディクテを含める。 授業ではテキストの解説をするほか、重点的に取り上げる文法項目を定め、練習や作文をおこなう。音読やパターンプラクティスなどの口頭練習は、ペアで活動する時間を設ける。 前期は以下の通りに進める（進度、受講者の関心などに応じて変更の可能性あり）。 （1）オリエンテーション、文型についての復習 （2）1課「制服への回帰？」 （3）1課「制服への回帰？」							
<div style="text-align: right;">Continue to フランス語II A F2105(2)</div>							

フランス語II A F2105(2)

- (4) 2課「バカロレア改革と大学入試改革」
- (5) 2課「バカロレア改革と大学入試改革」
- (6) 3課「仕事と情熱：城の修復」
- (7) 3課「仕事と情熱：城の修復」
- (8) 5課「移民とフランスの文化」
- (9) 5課「移民とフランスの文化」
- (10) 6課「フランスのMangaブーム」
- (11) 6課「フランスのMangaブーム」
- (12) 受講者と合意のうえ選択したテキスト
- (13) 受講者と合意のうえ選択したテキスト
- (14) 学期全体のまとめ、復習
- (15) フィードバック

[Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

[Evaluation methods and policy]

小テスト・ディクテ40%、その他の平常点（作文等の授業の成果物など）30%、期末試験30%
小テストを含め授業内での提出物が大きな割合を占める。配慮すべき理由のない欠席が5回を超えた場合、単位認定の対象としない。また、遅刻は小テストを受ける機会を逃すことになるので、注意すること。

[Textbooks]

岡見さえ、ミカエル・デプレ 『12テーマでわかるフランス事情[三訂版]』（白水社）ISBN: 9784560061558

[References, etc.]

（References, etc.）

授業中、テキストを読みながら辞書指導をおこなう。初学者向けのもので構わないので、毎回辞書を持参すること。

[Study outside of class (preparation and review)]

予習：テキストの指定された箇所について、語彙・表現を調べ、内容を理解しておく（小テストの準備）

復習：教科書付属の音声資料を使って音読・シャドーイングを行い、ディクテの準備をする

[Other information (office hours, etc.)]